

# 警戒レベルを知っておきましょう

令和元年に「大雨警戒レベル」が導入されました。当初は多くの防災情報を、わかりやすく整理して、避難に結びつける目的でしたが、必ずしも的確な避難に結びついていないといった課題もあり、令和3年5月20日から情報が変更されました。

避難のポイントで大事なことは、「レベル5を待たずにレベル4までに避難を終えること」です。

避難情報等 (警戒レベル)			河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	防災気象情報(警戒レベル相当情報)	
			浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	5相当 氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~				
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	4相当 氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	3相当 氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	2相当 氾濫注意情報	—
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	1相当 —	—

引用元: 内閣府HPより



## 警戒レベル5

すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません!



## 警戒レベル4

避難勧告は廃止されました。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

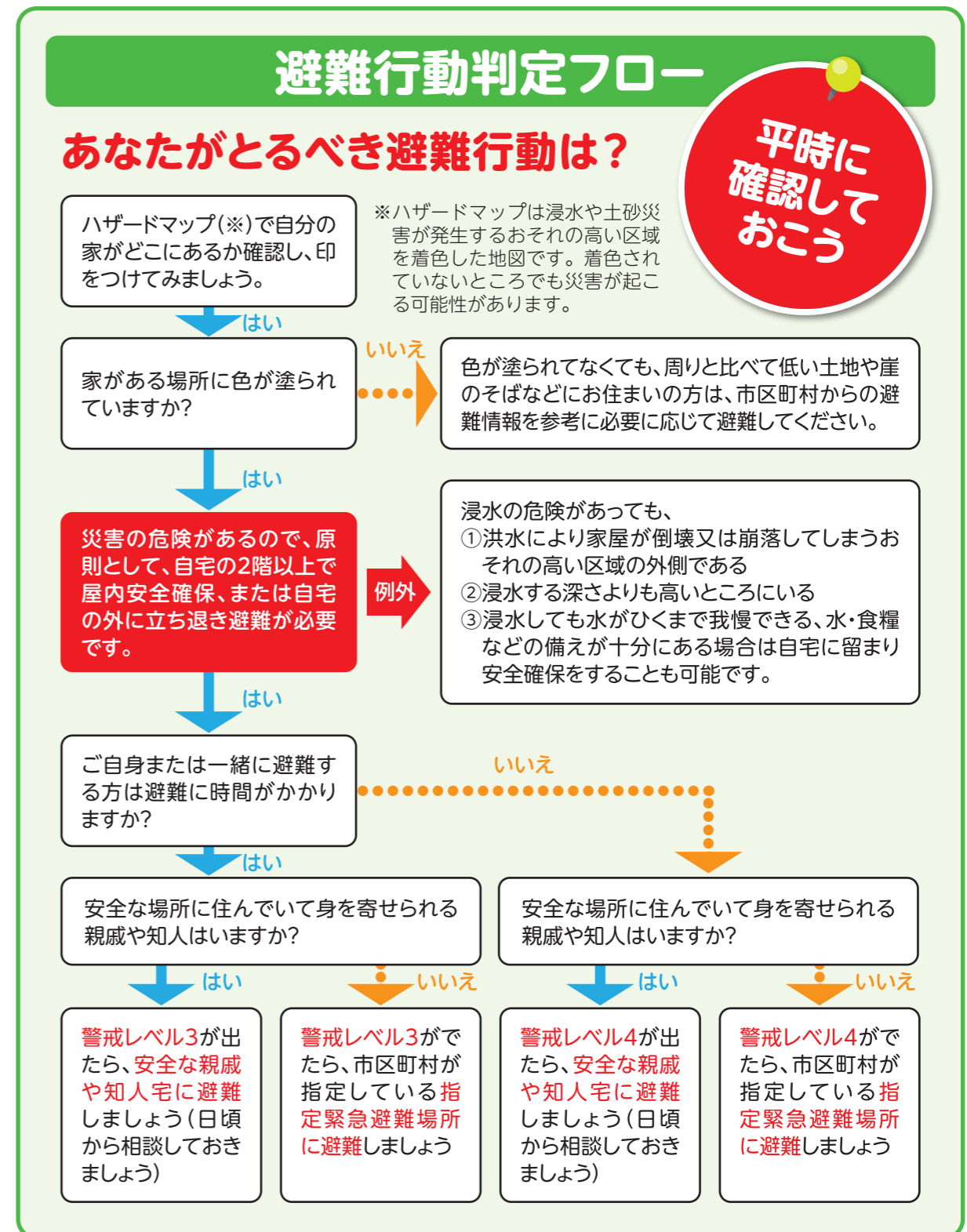


## 警戒レベル3

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

# 風水害時の避難行動

大雨の中の避難は危険を伴います。自分や家族の命を守るためには、状況判断を的確に行い、早めの避難行動に移すことが重要です。いざというときの行動を確認しておきましょう。



引用元: 内閣府HPより